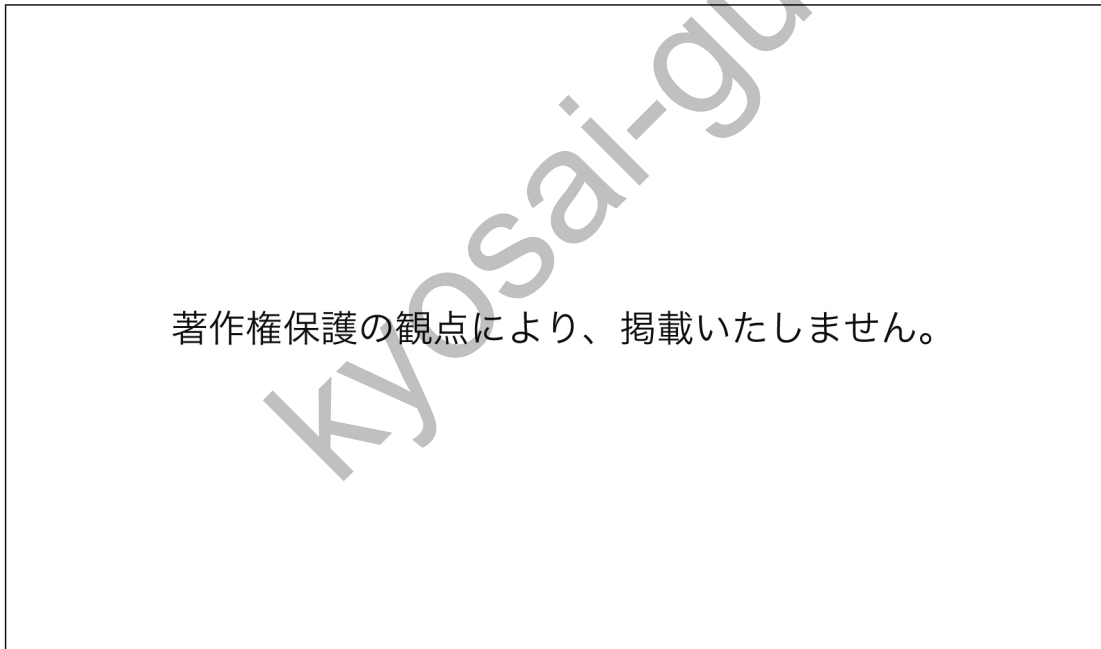


令和6年度採用 中学校 家庭

教科(科目)	受験番号
家庭	

1

- (1) 次のグラフは、世帯の家族類型別構成割合の推移を示している。凡例の(A)～(D)に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は11。



- (備考) 1. 国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)」(2018(平成30)年推計)より作成。
 2. 一般世帯に占める比率。「3世代等」は、親族のみの世帯のうちの核家族以外の世帯と、非親族を含む世帯の合算。
 3. 「子」とは親族内の最も若い「夫婦」からみた「子」にあたる続柄の世帯員であり、成人を含む。
 4. 平成27(2015)年は家族類型不詳を案分した世帯数を基に割合を計算している。令和2(2020)年以降は推計値。

ア ひとり親と子供 イ 夫婦と子供 ウ 3世代等 エ 単独

	(A)	(B)	(C)	(D)
①	ア	ウ	エ	イ
②	エ	イ	ア	ウ
③	イ	ウ	エ	ア
④	エ	ア	イ	ウ
⑤	ア	イ	エ	ウ

(2) 高齢者の身体の特徴について最も適切でないものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は12。

- ① 皮膚：感覚が鈍くなり，指先も動かすにくい。
- ② 関節：かたくなり，動かすにくい。
- ③ 泌尿器：トイレが近くなる。
- ④ 耳：聞こえにくい（特に低い音）。
- ⑤ 呼吸：肺活量が低下し，息切れしやすい。

Kyosai-guild

- (3) 乳幼児の身体の発育・発達について、(A) ~ (E) に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①~⑤の中から一つ選べ。解答番号は13。

○身体の発育

乳幼児期はからだの発育が著しく、乳児期の(A)で体重は約3倍、身長は約1.5倍に成長する。特に脳神経系の発達は(B)歳ころまでに急激に発達する。

○感覚・運動機能の発達

からだや運動機能の発達には、一定の方向と順序がある。子どもの基本姿勢は、臥位から座位へ、そして幼児期の立位へと変化していく。座れるようになって(C)の自由度が増すと、つかむなどの(D)が発達してくる。立って歩けるようになると、自らの意思で移動が可能になるため、探索行動が広がり、好奇心旺盛に環境や物とかがわるようになる。この時期の子どもの意欲や関心を保証することは、(E)にとって重要である。

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	半年間	3	手指	把握機能	知的発達
②	半年間	6	行動	探索行動	把握機能
③	1年間	6	行動	把握機能	知的発達
④	1年間	3	行動	探索行動	把握機能
⑤	1年間	6	手指	把握機能	知的発達

- (4) 乳幼児の心の発達について適切なでないものを、次の①~⑤の中から一つ選べ。解答番号は14。

- ① 特定の相手の方をじっと見つめたり、顔を向けたりする行動は、愛着行動の現れである。
- ② 愛着を形成する相手は1人とは限らず、子どもの対人関係の広がりとともに相手も広がる。
- ③ 2,3歳頃には、複雑な感情や行動の理由をうまく言葉で説明できず、かんしゃくを起こすことが多くなる。
- ④ 頭の中でイメージを思い浮かべる能力が発達し、他者の視点を中心に考えられるようになる。
- ⑤ 喃語は言葉の基となるものであり、やがて自分の意思を周りに伝える指さしやジェスチャーが出現し、1歳頃に初めて意味のある言葉を発するようになる。

- (1) 次のグラフは、成人男性の体の成分を示したものである。(A) に該当する栄養素の説明として適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は15。

著作権保護の観点により、
掲載いたしません。

(江指隆年・中嶋洋子編著「ネオエスカ基礎栄養学」より作成)

- ① からだのエネルギーになる糖質と、消化されにくい食物繊維に分けられる。
- ② 血液の成分や、細胞の膜になる重要な栄養素である。エネルギー源としても使われる。
- ③ 筋肉や血液、つめなどの成分としてからだをつくっている。
- ④ 少ない量ではたらく栄養素で、からだの機能を調節している。
- ⑤ 骨や血液などの成分で、体液のpHや浸透圧の調節をしている。

(2) 食品の栄養的な特質について**適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。
解答番号は16。

- ① いもは、でんぷんに加えて、ビタミンCや食物繊維を豊富に含み、栄養価が高い。
- ② 青背魚、しそ油、亜麻仁油に含まれるn-3系脂肪酸は、血液中のコレステロール濃度を低下させ、高血圧や動脈硬化を予防する働きがある。
- ③ 鶏卵は、ビタミンA以外のほとんどの栄養素を含む、栄養価の高い食品である。
- ④ 豆類の中でもとくに大豆は、「畑の肉」と呼ばれるほど、栄養価の高いたんぱく質を多く含んでいる。
- ⑤ 菓子やインスタント食品などの加工食品は、脂肪分や塩分を多く含むことがある。また、食品添加物としてリン酸塩を多く含む食品もあるため、リンの過剰摂取に気をつける。

- (3) 各ライフステージの特徴と対応策について、(A) ~ (E) に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①~⑤の中から一つ選べ。解答番号は17。

	特徴	対応策
妊娠期・授乳期	・十分な栄養摂取と健康管理をする時期	・葉酸, 鉄, カルシウムの不足に注意し, (A) を控える。
乳幼児期	・成長が著しくからだの基礎づくりをする時期	・個人の成長・発達(手, 指, 口腔)に合った消化によい食べ物を与える。 ・(B) にして多くの食品の味を経験させる。
学童期	・正しい食生活を身につける時期	・偏食, 小食, 過食をなくす。
思春期・青年期	・急激に心身が発達する時期	・第二次性徴が起こるため貧血を予防する。 ・規則正しい食生活を身につけ, (C) に注意する。
成人期	・生活習慣病を予防する時期	・生活習慣病に注意し, (D) や(A) の摂取を控え, 野菜類を多く摂取する。
高齢期	・老化を防ぎ, 活力を保つ時期	・食事摂取量の減少やかたよりによる(E) や骨粗しょう症に注意する。

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	たんぱく質	濃い味	骨粗しょう症	炭水化物	低栄養
②	たんぱく質	うす味	摂食障がい	炭水化物	貧血
③	塩分	うす味	摂食障がい	動物性脂肪	低栄養
④	塩分	うす味	骨粗しょう症	炭水化物	貧血
⑤	塩分	濃い味	摂食障がい	動物性脂肪	低栄養

(4) お弁当づくりによる食中毒の予防について**最も適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は18。

- ① 手指に傷がある場合、ノロウイルスが多くつき食材を汚染する恐れがあるため、手指を調理用手袋で覆う。
- ② 野菜や果実、魚介類は流水で良く洗うとよいが、肉は食中毒菌が飛び散るため洗わない。
- ③ 火を通さなくても食べられるハムやかまぼこなども、できるだけ加熱料理をする。
- ④ 水分が多いと細菌が増えやすくなるため、おかずの汁気をよく切る。
- ⑤ 当日調理が基本だが、前日に調理するときや昨晚の残り物を詰めるときは、詰める直前に再加熱する。

(5) 調理法の「蒸す」について**適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は19。

- ① あくが除かれなため、鮮度のよい材料に味付けをしてから加熱する。
- ② 乾式加熱で、こうばしさが加わる。
- ③ 栄養素の損失が少ない。
- ④ うまみの損失が少ない。
- ⑤ 水蒸気の熱で食品を加熱する。

(1) 和服について、(A) ~ (D) に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①~⑤の中から一つ選べ。解答番号は20。

和服は、(A) 衣服の代表的なもので、直線で裁断した細長い布をほとんど直線で縫い合わせる。

和服の着装は、長着に(B) を締めた状態が基本になる。和服の下着には、肌襦袢や(C)、長襦袢があり、足には足袋を履く。

裏地をつけない1枚仕立てのものを(D) という。

	(A)	(B)	(C)	(D)
①	平面構成	帯	すそよけ	ひとえ
②	立体構成	ひも	いしき当て	あわせ
③	平面構成	帯	いしき当て	ひとえ
④	立体構成	帯	すそよけ	ひとえ
⑤	平面構成	ひも	いしき当て	あわせ

- (2) 次のグラフは、国内におけるアパレル供給量・市場規模の推移、および国内に供給される衣類による CO₂ 排出量を示したものである。グラフから読み取ることができることについて**適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は21。

国内アパレル供給量・市場規模の推移

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(経済産業省「生産動態統計」、財務省「貿易統計」、矢野経済研究所「繊維白書」より作成)

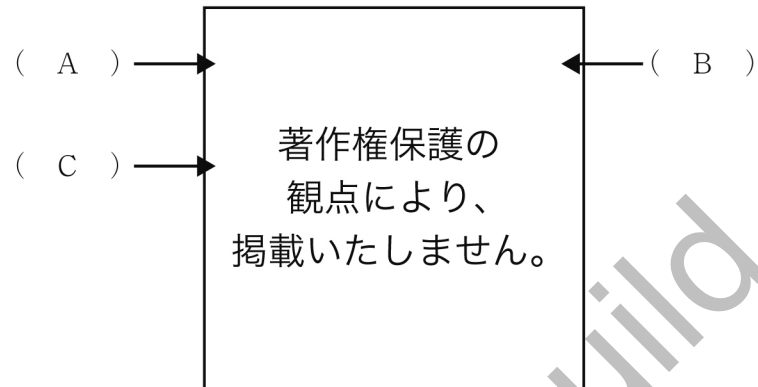
国内での衣類のライフサイクルに渡る CO₂ 排出量 [千t-CO₂、カッコ内は内訳]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(環境省「令和2年度ファッションと環境に関する調査業務」より)

- ① 1990年から2019年にかけて、国内におけるアパレル供給量はほぼ1.75倍になっている。
- ② 1990年から2019年にかけて、国内におけるアパレルの需要と供給のバランスは変化していない。
- ③ 国内での衣類のライフサイクルに渡る CO₂ 排出量は、原材料調達、染色の順に多い。
- ④ 国内での衣類のライフサイクルにおいて、排出される CO₂ 全体の約9割は、製品が作られる過程で排出されている。
- ⑤ 国内での衣類のライフサイクルに渡る CO₂ 排出量は、約95百万トンである。

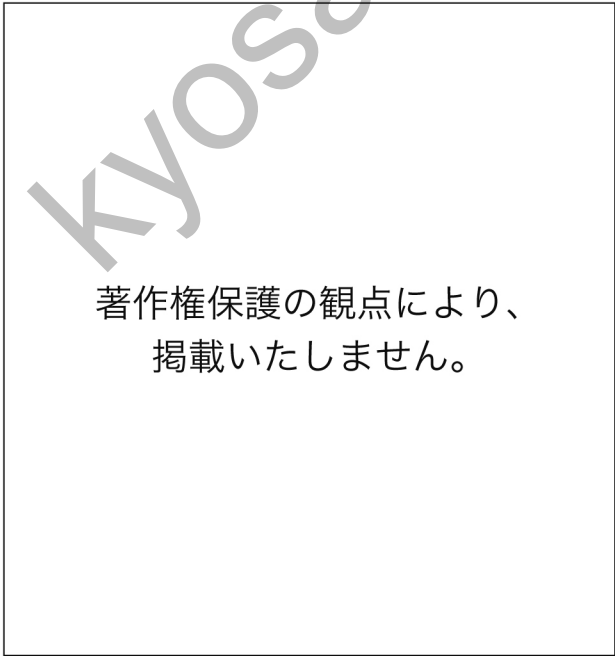
- (3) 次のセーターの取扱い表示について、(A) ~ (C) の記号の意味の組合せとして最も適切なものを、次の①~⑤の中から一つ選べ。解答番号は22。



	(A)	(B)	(C)
①	液温 40℃を限度に手洗いでの洗濯可	ぬれ平干し乾燥がよい	200℃を限度にアイロンできる
②	液温 40℃を限度に洗濯機での洗濯可	ぬれ平干し乾燥がよい	200℃を限度にアイロンできる
③	液温 40℃を限度に洗濯機での洗濯可	日陰の平干し乾燥がよい	150℃を限度にアイロンできる
④	液温 40℃を限度に手洗いでの洗濯可	ぬれ平干し乾燥がよい	150℃を限度にアイロンできる
⑤	液温 40℃を限度に手洗いでの洗濯可	日陰の平干し乾燥がよい	150℃を限度にアイロンできる

(1) 日本の住まいについての説明ア～オと、図中の (A) ～ (E) の住まいのある地域の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は23。

- ア 漁業と生活が一体化し、船が直接出入りできる住宅形式。
- イ かやぶきの急こう配の屋根が特徴で、屋根裏部屋では養蚕が営まれていた。
- ウ 三角屋根にして雪がすべり落ちやすいような工夫がされている。
- エ 台風の暴風から家を守るため、サンゴの岩を積み上げた塀で家の周りを囲んでいる。
- オ 冬の風から家屋を守る間垣をつくり、冬は暖かく、夏は日差しをさえぎり、涼しく過ごす工夫をしている。



	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	ウ	エ	イ	ア	オ
②	ア	イ	ウ	エ	オ
③	ウ	オ	イ	ア	エ
④	イ	ア	ウ	オ	エ
⑤	ア	オ	イ	ウ	エ

(2) これからの住まい・まちづくりについて**適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は24。

- ① 環境共生住宅には、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスのような機械・設備的工夫によるアクティブデザインや、日本の伝統的な住まいの知恵をいかして自然エネルギーを最大限に活用・調整するパッシブデザインがある。
- ② 人と人とがかかわり合う集合住宅として、住み手が企画・設計段階から参加し、協同で建設・運営するコレクティブハウジングや、独立した専用住戸と共用空間を持ち、生活の一部を共同化するコーポラティブハウスがある。
- ③ 2017年に設立された住宅セーフティネット制度は、民間の空き家・空き室を活用して、高齢者、障がい者、子育て世帯等の住宅の確保に配慮が必要な住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の供給の促進を目的としている。
- ④ 地震が多い日本では、家具の配置、物の置き方、地震の二次災害として発生する通電火災への対策など、日頃から災害に備えた住まい方をしておくことが大切である。
- ⑤ 住環境の評価指標の例として、安全性、保健性、利便性、快適性、持続可能性が挙げられ、誰もが安心して暮らせるまちづくりが求められる。

- (1) ライフステージ別消費支出の構成について、(A) ~ (D) に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①~⑤の中から一つ選べ。解答番号は25。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(総務省「令和元(2019)年全国家計構造調査」より作成)

	(A)	(B)	(C)	(D)
①	住居	教養娯楽	教育	食料
②	住居	教育	教養娯楽	食料
③	食料	教養娯楽	住居	教育
④	住居	食料	教育	教養娯楽
⑤	食料	住居	教育	教養娯楽

(2) リスク管理と資産形成について**最も適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は26。

- ① 結婚, 出産, 育児, 教育, 介護等のライフイベントには多くの費用がかかるため, 生涯を見通した金銭管理が必要である。
- ② 保険には, 国民全員が加入するものと, 任意で加入するものがある。
- ③ 火災保険は, 火災, 地震, 落雷, 風災等による建物や家財の損害を補償する保険である。
- ④ 金融商品を選択する際には, 十分な情報収集を行い, 利益と損失に責任を持つことが必要である。
- ⑤ 国や企業などがお金を借りる際に発行される債券は, お金を返す期限である満期が決められており, 保有している間は利息を受け取ることができる。

(3) 経済生活について**適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は27。

- ① 為替レートや株価, 金利は日々変動し, 貿易の収支に影響を与え, 物価や企業の賃金にも影響を及ぼす。
- ② 投資の際に, 売上高や利益, 資産, 負債といった財務情報だけでなく, 環境への取り組みや社会への寄与, 企業経営の公正さを重視する ESG 投資が広がりを見せている。
- ③ カーシェアなど, 所有する物を必要最少限にする暮らし方として, シェアリング・エコノミーが広がりつつある。
- ④ 温室効果ガスを排出しない低炭素社会を実現するためには, エネルギー消費量の削減に取り組むことが重要である。
- ⑤ 債券や株式, 投資信託は元本割れがなく安全性が高いが, 金利は高くないため収益性は低い。

(1) 次の文章は、「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 技術・家庭編（平成 29 年 7 月 文部科学省）第 2 章 技術・家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭分野の目標及び内容 3 家庭分野の内容 B 衣食住の生活 住生活」の一部である。
 (A) ～ (D) に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 28。

(6) 住居の機能と (A) な住まい方
 ア 次のような知識を身に付けること。
 (7) 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解すること。
 (イ) 家庭内の事故の防ぎ方など (B) の安全を考えた住空間の整え方について理解すること。
 イ (B) の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫すること。

(内容の取扱い)

ク (6)のアについては、簡単な図などによる住空間の (C) を扱うこと。また、ア及びイについては、内容の「A 家族・家庭生活」の(2)及び(3)との関連を図ること。さらに、アの(イ)及びイについては、(D) に備えた住空間の整え方についても扱うこと。

	(A)	(B)	(C)	(D)
①	安全	家族	構想	自然災害
②	健康	住居	設計	家庭内の事故
③	安全	家族	構想	家庭内の事故
④	安全	住居	設計	自然災害
⑤	健康	家族	設計	家庭内の事故

(2) 「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 技術・家庭編（平成 29 年 7 月 文部科学省）第 3 章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画作成上の配慮事項」の一部である。次の①～⑤について誤りのあるものを一つ選べ。解答番号は 29。

- ① 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。
- ② 生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、知識を相互に関連付けてより深く理解するとともに、生活や社会の中から問題を見いだして解決策を構想し、実践を評価・改善して、新たな課題の解決に向かう過程を重視した学習の充実を図ること。
- ③ 「A 家族・家庭生活」の (4)、「B 衣食住の生活」の (7) 及び「C 消費生活・環境」の (3) については、これら三項目のうち、二以上を選択し履修させる。その際、他の内容と関連を図り、実践的な活動を家庭や地域などで行うことができるよう配慮すること。
- ④ 「A 家族・家庭生活」から「C 消費生活・環境」までの各項目に配当する授業時数及び各項目の履修学年については、生徒や学校、地域の実態等に応じて、各学校において適切に定めること。
- ⑤ 「A 家族・家庭生活」の (1) については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるために、第 1 学年の最初に履修させること。

- (3) 次の文章は「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭編（平成29年7月 文部科学省）第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」の一部である。（A）～（E）に当てはまる語句の組合せとして適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は30。

- (1) 指導に当たっては、衣食住やものづくりなどに関する実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、（A）などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ること。
- (2) 指導に当たっては、コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用して、実習等における情報の収集・（B）や、実践結果の発表などを行うことができるように工夫すること。
- (3) 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、実践的・体験的な活動を充実すること。また、生徒のキャリア発達を踏まえて学習内容と将来の（C）の選択や生き方との関わりについても扱うこと。
- (4) 資質・能力の育成を図り、一人一人の個性を生かし伸ばすよう、生徒の興味・関心を踏まえた学習課題の設定、技能の習得状況に応じた少人数指導や教材・教具の工夫など（D）に応じた指導の充実に努めること。
- (5) 生徒が、学習した知識及び技能を生活に活用したり、生活や社会の変化に対応したりすることができるよう、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動を充実するとともに、家庭や地域社会、（E）などとの連携を図るよう配慮すること。

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	資料	活用	進路	個	自治体
②	資料	整理	職業	個	企業
③	概念	活用	職業	実態	自治体
④	概念	整理	職業	個	企業
⑤	資料	活用	進路	実態	企業

kyosai-guild